

質問：どんな問題が出題されますか？

答え：「思考力・判断力・表現力」をはかるための記述問題が中心です。日常生活に近い場面の問題が多いのもとくちょうのひとつです。自分の考えを自分の言葉で説明する問題に慣れましょう。

質問：思考力・判断力・表現力って何ですか？

答え：思考力は「問題の内容を考え、わかる力」、判断力は「問題のとき方・答え方を決める力」、表現力は「自分の考えたことをほかの人にわかりやすく伝える力」です。

近年、ある町は、観光地として人気となり、外国人観光客も多く来ています。そこで、町の商店街の人たちは、外国人観光客に自分たちの店に来てもらいたいと考えました。次の商店街の人の話を参考にして、あとの問題に答えましょう。

①そば屋の店主

この地域には、ほかにレストランはないから、お昼を、ぜひうちで食べてもらいたいんだ。でも、そばの食べ方を外国の人は知らないんじゃないかな。ずるずるって食べるのをいやがる国の人もいるみたいだしね。



②文房具店の店主

この商店街のどこにどんなお店があるのか、ほかから来た人にはわかりにくいと思うのよ。外国の人に道をたずねられても、言葉がわからないから、案内できないしね。



問題 あなたが①または②の店主だとしたら、外国人観光客に来てもらうために自分のお店や商店街にどんな工夫をしますか。①、②のどちらか一人を選び、その人の立場に立って工夫を書きましょう。

かいとう
解答らん

記号

工夫

▶ 解答が書けたら、うら面の解答例と解説を見てみよう！

解答例 1

記号 ①（そば屋の店主を選択）

- ・外国の人はそばの食べ方のマナーやおはしの使い方を知らない人が多いので、そばの食べ方を外国語で説明したパンフレットをつくって店に置く。
- ・外国の人用にフォークを用意する。

など

解答例 2

記号 ②（文房具屋の店主を選択）

- ・外国の人がまよわないように、いろいろな国の言葉でお店をしょうかいしたかんばんを商店街の入り口にたてる。
- ・商品を英語などの外国語でも説明する。

など

解説

①または②のお店の店主となったとして、お店がしょうかいしたい特色は何か、また、その特色を伝えやすくするためにはどうすればよいかを考えます。

まず、それぞれの店主の話を読み、「しょうかいしたい」と考えている特色を整理して、その内容を確認しましょう。

次に、その特色を外国の人に伝えるためには（伝わりやすくするためには）どのようにすればよいか（どのような工夫をすればよいか）を考えましょう。

外国からの観光客にとって、めずらしいものや興味をもってもらえそうなもの、もしくは、外国の人にとって身近なものに注目し、それらをお店で使用すると、特色が伝わりやすくなると考えられます。

答えを書くときは、訪問している外国の人の立場に立って考えると、せつとく力がある解答になります。①、②のお店を選ぶとき、両方のお店の特色を理解し、あなたにとって書きやすい方を選ぶことも大切です。

「明日の学力」診断では、問題文に書かれていることを手がかりにして、答えを考え、ほかの人にもわかるように表現する力をみています。

あなたなりの答えを書いてみましょう！